

ザックかっいで

10月グループ山行・・・障害者と登山

10月31日(日) 竹林寺山

主催 全国障害者問題研究会広島サークル(代表 得本真人)

参加者 67名(やまぼうし18名) 永谷、津田よ、升本、八木、小林、宮木澄
宮木一、熊谷修、熊谷陽、竹野栄、国本、川村、村島、三重成、成広
白川、若木、津田良(会友)

16 ㊦のやまぼうし特製ブタ汁大好評

車椅子の参加者7名、その他身体的、知的障害者数名、全体で67名の大勢の参加になりました。駐車場でにぎやかな開会行事の後、登山道を歩いて登る組と車椅子をサポートして車道を歩く組に分かれて出発。

やまぼうし先発隊の「ブタ汁作り組」は車で一足先に竹林寺に到着し早速大ナベ3つに16 ㊦のお湯を沸かし始めました。(一人200㊦リットル食べるとして80人分です)11時過ぎ全員元気に到着。

アツアツの特製ブタ汁は大好評でたち

まち売切れてしまいました。あいにく食事が終わる頃雨になってしまったので計画していた山でのイベントを中止して少し情けない下山になってしまいました。次に当日読み上げるはずだったアピール文の一部を掲載しますのでぜひご一読下さい。

最後にやまぼうしの皆さん、たくさん参加していただきありがとうございます。また次回もよろしくお願いします。

(記 若木一之)

障害者登山に参加された皆さんへ

(略)・・・昭和45年に「障害者問題をみんなの問題に」と創立大会が開かれ、その後全国各地で地道な活動を続けています。

発足当初は障害児が自宅の柱にしばられ、「ハエと共に過ごす」などと言われ、それが大げさな表現ではありませんでした。

そんな時代から全障研はどんなに重い寝たきりの障害者であっても発達成長をしていくと言う「発達保障」を理論化しました。

それは人間にとって生きて行くうえで何が一番大切であるかを考えさせるものでした。

私たちは登山のようなレクリエーションや障害者が過ごしやすい街づくり、障害者支援制度の学習会などを開いています。

ぜひ皆さんご参加下さい。

全障研広島サークル代表 得本真人